



夢中になれる経験を。

はじめに

1. 取組実績

- ① 大阪経済大学 淡路島CBL
- ② 第2のふるさとづくりWS(ODKソリューションズ)
- ③ P-1グランプリ(LEVIAS)
- ④ 大阪経済大学 × 武庫川女子大学 実践プログラム

2. これまでとこれからの関わり方

3. 今後の目標

＜弊社概要＞

関西・関東圏にて大学・学生支援を行う、昨年創立40周年を迎えた教育企業。

創業以来「夢と勇気が人を育てる」という経営理念のもと、大学授業支援、資格対策講座運営、ビジネススクール、企業研修等、若者に対する幅広い教育サービスを展開し、社会で活躍する人材輩出を主業している。

2021年度からは、大阪府の「OSAKA若者リ・スキリング・パートナーズ」に参画し、デジタルスキル研修及び就業支援を担う。2022年には若手社会人を対象としたキャリア支援サービス『noa+(ノアプラス)』を開始。今年4月には、武庫川女子大学のリカレント教育事業『MUKOnoa+』のパートナー企業として教育コンテンツ及び就職支援を担う。また、9月には、経産省による『リスキリングを通じたキャリアアップ支援事業』の採択事業者選定を受ける。経済社会で求められる多様なスキルの習得、キャリアイベントの開催、キャリアカウンセラーによる人間味のある支援を重視し、自ら学ぶ受講生と、成長意欲の高い企業との、新たな出会いの場の創設を目指している。

HP: <https://workacademy.com/>

1. 取組実績(直近2年間)

	実施時期	実施名(協力企業)	参加学生数 参加・所属大学数	実施期間
①	2021年11月	大阪経済大学プログラム(シマトワークス) 淡路島 CBL (Creative-Based Learning)	17名 大阪経済大学	3日間(現地研修1日)
	2022年 11月～12月	大阪経済大学プログラム(シマトワークス) 淡路島 CBL (Creative-Based Learning)	8名 大阪経済大学	3日間(現地研修1日)
②	2023年2月	第2のふるさとづくりワークショップ in 洲本市 (ODKソリューションズ)	10名 8大学	現地研修3日間
③	2023年5月	第1回 P-1グランプリ 地方創生×Web3.0 (LEVIAS)	54名(他社会人8名) 13大学	1ヶ月(オンライン)
	2023年9月	第2回 P-1グランプリ 地方創生×Web3.0 (LEVIAS)	34名(他社会人3名) 11大学	1ヶ月(オンライン・現地 研修1日)
④	2023年 8～9月	大阪経済大学×武庫川女子大学 合同実践プログラム ～淡路島洲本市で、マスキングテープを使ったりメイ ク活動で地域に貢献！～	大阪経済大学 武庫川女子大学 37名	8日間(現地研修1日)

総数:参加大学生:160名
同所属大学:18大学

①大阪経済大学 淡路島CBL(シマトワークス)

■実施概要

CBL(Creative Based Learning)とは課題解決型学習の一つであり、学内にとどまらず、学外に赴き、学ぶ短期間のプログラム。今回は淡路島の株式会社シマトワークス様ご協力のもと、『ワーケーションという新しい働き方を淡路島でのフィールドワークを通して学ぶ』をテーマに実施。



■実施目的

新しい働き方「ワーケーション」を推進している淡路島まで実際に出向いて、新しい働き方の価値観を学び、キャリアに対する視野を広げてもらう。

⇒2021年、2022年の2年連続実施で、合計25名の大阪経済大学学生が参加

プレスリリース:<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000023.000044832.html>

②第2のふるさとづくりWS(ODKソリューションズ)

■実施概要

洲本市千草竹原地区で2泊3日、民家のリノベーションやフィールドワークを通して、洲本市に学生が集う拠点づくりの一角を担う体験。

体験後に、洲本市からNFTを活用した認定書(ふるさとパスポート)を発行

→個人の活動履歴証明となり、限定コミュニティへの参加権や飲食店での割引に活用する等、継続的な関係人口づくりに寄与する取り組みへ

■実施目的

地方創生という社会課題に対し、大学生が自治体関係者や地域おこし協力隊の方と交流する中で、街の新たな魅力発見と課題解決の方法を、自身の体験を通して探究する。

<https://noaplus.workacademy.com/topic/1463/>
プレスリリース:<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000030.000044832.html>



②第2のふるさとづくりWS(ODKソリューションズ)

■日程

2023年2月14日(火)、2月24日(金)～2月26日(日)

■主なスケジュール

2月14日(火): 事前ワークショップ(オンライン)

2月24日(金): フィールドワーク(兵庫県洲本市)

2月25日(土): 古民家改修ワーク(兵庫県洲本市)

2月26日(日): フィールドワーク、NFT発行、総括(兵庫県洲本市)

■参加大学(順不同) 合計10名・8大学

帝塚山学院大学、武庫川女子大学、関西外国語大学、近畿大学、
大阪経済大学、佛教大学、京都先端科学大学、大阪工業大学

■連携企業

株式会社ODKソリューションズ



③P-1グランプリ(LEVIAS)

■実施概要

Web3.0を用いて地方創生につながる新規ビジネスを企画する、
ビジネスアイデアコンテスト(ピッチコンテスト)

入賞した企画考案者にはNFTを賞品として発行し、「学んだ経験」を現金化。
企画によっては、新規ビジネスとして実社会に貢献し得る機会の提供を目指す。



■実施目的

ブロックチェーン技術など、Web3.0をはじめとする最新技術や社会課題についての学習機会を設け、若い世代へ高いリテラシーを身に着ける機会を提供する。同時に、地方が有する現状理解を進め、地方との関わる機会の創出に繋げる。

■参加大学(順不同) 合計88名・16大学

大阪工業大学、京都先端科学大学、近畿大学、京都女子大学、流通科学大学、京都ノートルダム女子大学、大阪体育大学、大阪商業大学、佛教大学、武庫川女子大学、摂南大学、富山大学、帝塚山学院大学

<主催> 一般社団法人 日本アニカナ業協会

<協力> 洲本市／島のしごとサポートセンター(株式会社シマトワークス)／NPO法人 地方創生協会／アニドライブ株式会社／株式会社ワークアカデミー／一般社団法人 未来教育推進機構

③P-1グランプリ(LEVIAS)

■入賞作品

AIに最適観光ルートを提案させる、洲本市の公式観光検索サイトの設置。観光地を巡った体験をNFTに変換・AIの深層学習へ還元し、さらに情報を取得しやすいサイトへ成長。

■入賞者の声

私達はアイデアを考える上で、将来洲本市の人口を増やし、経済を活性化することに着目しました。

今回、普段の困りごとを解決する方法と地域創生を結びつけることにより、新たなビジネスが生まれることや、お金と情報の仕組みなど、社会について少し知ることが出来ました。

社会人になってビジネスと地域創生や社会課題などを結びつけ、社会の役に立つようなアイデアを考えていきたいと思います。

P-1特設サイト: <https://noaplus.workacademy.com/p-one/>

プレスリリース: <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000039.000044832.html>

地方創生を「**P-1**グランプリとは？」
「学んで稼ぐ」

P-1グランプリとは？

Web3.0の技術・概念を用い、地方創生を目的とした新規ビジネスの企画を競いあうビッチコンテストです。

知識ゼロでもOK！参加者はオンデマンド講座やワークショップ等の学習プログラムでデジタル技術のリテラシー向上を図り、指定地域の課題やニーズを学びながらビジネスアイデアを設計していきます。



富山大学Kさん・Hさん

④大阪経済大学 × 武庫川女子大学 実践プログラム

淡路島の洲本市で、マスキングテープを使ったリメイク活動で地域に貢献！

■実施概要

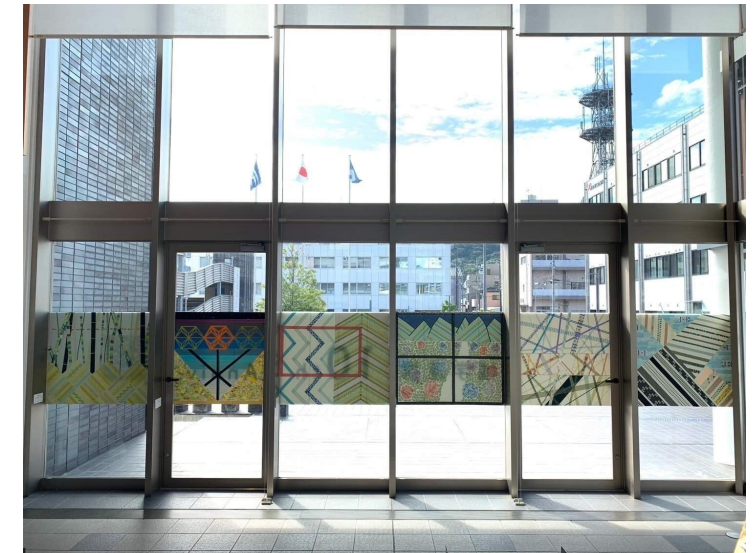
大学と洲本市による「域学連携」10周年をテーマにマステアートを考え、大阪経済大学・武庫川女子大学と合同の37名6チームに分かれて制作。また、洲本現地では、まちの人にインタビューをする活動も行い、洲本市の魅力だけでなく、課題や良いところが知られていない現状をキャッチ。最後には洲本をより良くするアイデア提案発表も行った。

■参加者の声

- ・自分は今までチームワークなんて効率が悪い、一人でやった方が良いものが作れる、といった考えを多少持っていたが、もしかしたら違うのかもしれないと感じた。
- ・仲間がいるともう一度考えるのも楽しいし、同時に成長出来る。当然違う考えを持っている人がいるし、自分にとって新たな考えが生まれる。今回の研修ではそういうことを考えさせられた。

<https://workation.life/consortium/248/>

<https://info.mukogawa-u.ac.jp/publicity/newsdetail?id=4458>



2. これまでとこれからの関わり方

■ 淡路島ゼロイチコンソーシアムへの参画

洲本市に拠点を持つ 様々なジャンルの団体様との連携

⇒ 多くの人たちに、学びの場を作ったり、
充実感を持ってもらえるようなプログラムを提供

⇒ 地元住民や企業にどんなメリットが出せるのか、
どんな貢献ができるのかという視点を持った活動に



<https://workation.life/consortium/>

2. これまでとこれからの関わり方

■淡路島クエストカレッジのプログラム提供パートナーとして参画

大学生や若手社会人を中心とした多種多様な組織や個人が「冒険人」となり、淡路島・洲本市を中心に地域課題の解決や資源の利活用に挑戦。人や地域との繋がり、自身と地域の未来について考える場。

■地域活性化企業人の輩出

今年11月から弊社社員が現地に常駐し、淡路島クエストカレッジ活性化に向けて協働を開始予定。



<https://awaji-qc.jp/>

プログラム設計パートナー

PARTNER



株式会社ワークアカデミー



株式会社ODKソリューションズ



休息デザイン研究所



こどもみらい探求社



株式会社グロースリード

2. これまでとこれからの関わり方

■大学外でのコミュニティづくり

大阪天王寺の”ハルカス大学”、大阪梅田の”UMEDAI”といった都心部で拠点において、学生が学外で挑戦するためのコミュニティの創出に挑戦してきた。



Ex: ハルカス大学では、近鉄不動産と連携のもと、商業施設を併設した”てんしば”内にあるゲストハウスの運営を学生のインターンとして複数年が実施。

洲本市に若者が集うコミュニティを創出し、そこでの出会いと学びを通し、社会で活躍する人材を輩出する。

(洲本市である理由)

- ・関西からの交通の便
- ・都心部とは異なる、町と隣接する自然豊かな環境
- ・域学連携を長年積極的に推進されている洲本市との協調



3. 今後の目標

○機会の提供

①探求

アカデミックな内容と並行し、社会情勢に直接関わるより実践的な探求カリキュラムを創出する

②出会い

出会いを通し「自ら考え行動できる」「チーム創出を主体的に実施できる」「デジタルツールを活用できる」人材を輩出する

③就業

様々な企業がプログラムを通して、自ら学ぼうとする若者と出会い、就業機会を提供する

知識の習得だけでは無く、学内外を問わず、様々な人と場所での“出会いと学びの機会”を創出し、社会人としての知見を広げ、継続的に活躍する人材を輩出するプログラムを構築する。
洲本市の淡路島クエストカレッジをその一つの拠点として、発展させていく。

3. 今後の目標

■学生の安定流入の枠組みとプログラムの継続運営可能な経済性の確保

- ・プログラムを通して得られたこと、またやり残したことや課題を整理し、次の世代に継承し続けていく連続性を有した体制（複数大学の授業との連携模索）
- ・大学の課外授業、企業のリクルーティング機能を両立させることで、経済面での継続性を確保する（協力企業の模索）

継続的に学生・若者が流入するための仕組みづくり



大学・企業との連携

長期的に学生・若者が携わるための滞在型拠点づくり



古民家再生等、安価な宿泊場所の確保

⇒将来的には、弊社が開催する全国80団体が参加する公務員フォーラムでのつながりも活用し、他自治体との連携も視野に、活動を継続していく。

ご静聴ありがとうございました。